

鹿島槍東尾根 報告

日程: 2011年5月14日(土) - 15日(日)

山域: 鹿島槍東尾根(北アルプス)

メンバー: 国府谷(L)・松林

行程:

前夜: 調布駅南口 22:00 - 調布 IC - 豊科 IC - 大谷原駐車場(車中泊)

第1日目(晴れ午後吹雪・雷): 東尾根取付き(7:00/7:20) - 一ノ沢の頭 - 二ノ沢の頭 - C1(14:00)

第2日目(快晴): C1(5:00) - 第一岩峰 - 第二岩峰 - 鹿島槍北峰(13:00) - 北俣本谷 - 大谷原駐車場(16:00)



大谷原駐車場: トレペも付いたきれいなトイレもあって20台ほど駐車できる。東尾根取付きは橋を渡って上流に20分程行ったヘアピンカーブを曲がった直ぐ先、左下はえん堤で右手の木の枝に赤い布が目印。急坂を登り、赤い布のマークを頼りにヤブコキが稜線まで続く。残雪の無い時期は一ノ沢の頭までは稜線上もヤブがルートをふさぎ、時間がかかった。



一ノ沢の頭



一ノ沢の頭から二ノ沢の頭、荒沢の頭を望む:前日までの長雨で雪面にトレールは消失。今日の入山者は我われ2名のみだった。鹿島槍にいやな雲がかかりだした。



二の沢の頭を過ぎ、いったん下って登り返したところで雷と風雪に見舞われる。小シュルンドを切り崩して幕営。夜通し風雪でテントも埋まったが早朝からはピーカン。



第一岩峰:草付き部分は解けてピッケルがよく抜ける。足場も悪くガリーはぐしょぐしょで核心部のようだった。



第二岩峰 50m 1 ピッチで山頂まで。核心のチニ-ではアイゼンと荷物がじゃまで国府谷さんのお助けヒモをついにつかむ。



北峰直下の雪稜:昨日降った新雪が解け、表層雪崩のようにずり落ちる。緊張の連続。



鹿島槍北峰登頂:国府谷さんご苦労様！！



北俣本谷下降:見た目以上に急斜面。国府谷さんは前向きでどんどん下降する。私は国府谷さんの跡を後ろ向きでキックステップを切りながらゆっくり下降するしかなかったが、腐った雪面はそれでも崩れるうえ、落石が音も無く直ぐ横を落下してくる。谷は雪崩と落石の巣のようだ。気持ちはあせるが、体力を消耗して脚が進まない。2時間下降したあたりで、先程降りてきたあたりで大きな崩落があった。ゆっくり降りていたら危なかった。



二ノ沢下部:落石もなだれの心配も無くなり駐車場目指しひたすら下る。